

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名	埋蔵文化財調査事業				
所管部局	教育委員会	部局長名	松原 和廣	予算事業名	埋蔵文化財調査事業費
所管部署	民権・文化財課	所属長名	筒井 秀一	予算事業科目(平成25年度)	011007010430

1 事業の位置付け

2011 高知市 総合計画・実施計画 施策体系での位置付け					
施策の大綱	03	育みの環	施策	埋蔵文化財	本市の歴史や先人の遺業を後世に伝えていくために、文化財の保護に努めるとともに、埋蔵文化財の調査体制や収蔵施設等の充実を図ります。また、新しい高知市史の編さんに取り組みます。さらに、自由民権記念館などの歴史学習関連施設を有効活用し、学校教育や生涯学習での歴史学習の推進と積極的な歴史情報の発信に努めます。
政策	17	多様な文化を身近に親しむ環境づくり			
施策	54	文化財保護と郷土の歴史学習の推進			
2 事業の根拠・性格			法定受託事務	施策 取 組 方 針	
法律・政令・省令	文化財保護法				
県条例・規則・要綱等					
市条例・規則・要綱等	高知市文化財保護条例				
その他(計画、覚書等)					

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民・研究者			
意図	どのような状態にしていくのか	遺跡(埋蔵文化財)は『文化財保護法』により「貴重な国民的財産」と位置づけられている。市内に点在する埋蔵文化財を調査・保存し、また調査結果を公開することにより本市の歴史を広く市民・県民に伝え後世に残していく。			
手段	事業実施体制等	民権・文化財課職員による直営	事業開始年度		事業終了年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	開発が予想される埋蔵文化財包蔵地について、試掘調査を行ってその範囲・性格をあらかじめ確認しておき、開発の進行しつつある地域を重点的に調査して、その性格を明らかにし、調整を円滑に行う。過年度に試掘・発掘調査を行った資料の整理作業や報告書発行を行う。また、発掘調査の成果物を展示し市民に公開する。			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	発掘調査についての成果を広く公開する指標となるため		
	B				
	C				

4 事業の実績等

		22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	目標			その他の財源は事業者負担による本調査費用	
		実績	史跡高知城跡発掘調査報告書	神田ムク入道遺跡発掘調査報告書	史跡高知城跡・高知城跡発掘調査報告書		
	B	目標					
		実績					
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	11,357	3,604	4,368		4,507
		財源内訳	国費 (千円)	2,000	1,500		1,900
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)	6,719	800		
			一般財源 (千円)	2,638	1,304	2,468	2,507
	翌年度への繰越額 (千円)	1,000					
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	19,223	24,219	22,322	20,408	
		正規職員 (千円)	14,400	14,400	14,800	14,800	
		その他 (千円)	4,823	9,819	7,522	5,608	
		人役数 (人)	4.50	7.50	6.00	5.00	
正規職員 (人)		2.00	2.00	2.00	2.00		
その他 (人)	2.50	5.50	4.00	3.00			
総コスト=①+② (千円)	30,580	27,823	26,690	24,915			
市民1人当たりコスト (円)	90	82	79		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)	339,130	337,875	338,397				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

事業費決算では平成23年度が近年で最も低くなっているが、これは都市建設部の市道事業における発掘調査を行ったため事業費に反映されなかった結果である。また、従前から体制整備の必要性が指摘されており、埋蔵文化財専門職員のいない現状は他の中核市と比較しても体制整備の遅れが目立つ。収蔵施設についても出土遺物の保管場所が手狭になってきており、耐震性も懸念される状況である。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	『文化財保護法』によると、遺跡は破壊されれば永久に失われてしまう貴重な国民の財産とされ、やむを得ず破壊される際にはこれを記録として後世に伝えることは埋蔵文化財行政の責務とされている。周知の埋蔵文化財包蔵地での開発行為に対して高知県教育委員会の調査・立会の回答を受け、当該地での試掘調査および立会調査を実施している。開発の頻度等に合わせ事業規模は増減するが、法の主旨を遵守し適切かつ円滑な事業実施を行っている。公共建設(新庁舎建設等)前にも埋蔵文化財調査は不可欠であり、需要量は増加している。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ(需要量)の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	4.0	試掘調査および立会調査はすべて埋蔵文化財担当の指導主事が行っており、本調査および調査報告書の刊行まで手がけている。高い専門性を持った職員が担当しており事業内容の有効性も高い。今後も専門職員又は専門知識を持つ職員の配置が必要不可欠である。一方で、整理作業後の出土遺物の収蔵施設について、耐震性および収容能力が限界に達してきているため整備・検討する必要がある。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	4.0	職員の高い専門性により現体制における事業継続がされており、アウトソーシングした場合と比較するとコストが大幅に増すことが予想される。高いコスト効率を実現している反面、同時期に2箇所の本調査・試掘調査を実施できる体制など今後の課題もあり民間を利用せざるを得ない場面があることも予想される。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	周知の埋蔵文化財包蔵地での開発については試掘調査は国・市の予算で行われる。また、本調査が必要となった場合には調査費が事業者負担になることから事業実施に対する公平性は担保されている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	17.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	所属長評価のとおり
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項